

活力みなぎる緑の郷土

広報

中標津

No.537

なかしべつ



開陽台より
街を見つめて

2007 平成19年

9

発行 / 中標津町役場

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地

総務部企画課広報・調査係

TEL 0153-73-3111 FAX 0153-73-5333

中標津町ホームページ

URL <http://www.nakashibetsu.jp>

メール nakasi-t@aurens.or.jp

携帯サイト <http://j.nakashibetsu.jp/>



この秋 緊急地震速報が スタートします

気象庁では、10月から緊急地震速報を発表して、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）の地域の名前を、強い揺れが来る前にお知らせします。

緊急地震速報とは、地震の発生場所に近い地震計でとらえた観測データを解析して、震源と地震の規模（マグニチュード）を直ちに推定し、これに基づいて各地での主要動の到達時刻や震度を推定し、可能な限り素早く知らせる情報です。

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間は、数秒から数十秒しかありません。いつでも、どこに居ても、身を守るための行動を素早く確実に取る必要があります。

なお、震源に近いところでは、強い揺れまでに情報が間に合わないことがあります。地震による強い揺れから身を守るため、日ごろから家や家具の耐震化を心がけましょう。

詳しくは、気象庁ホームページ（<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>）をご覧ください。

問い合わせ先：根室測候所 ☎0153-24-1686

右の図は、平成15年（2003年）十勝沖地震の例ですが、緊急地震速報提供から強い揺れが来るまでの猶予時間（秒）を表したものです。

中標津町までは、約30秒で強い揺れが来ます。この間に、次の行動に移れるかどうか、災害から身を守ることに繋がります。

さまざまな場面における具体的な対応行動の指針を紹介します。

1 家庭

家庭での対応行動の指針がすべての場面の基本になります。家庭以外の学校や職場などで緊急地震速報を受信したときの行動についても、家庭での指針を基に自ら考えておくことが重要になります。

- ・頭を保護し、大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる。
- ・あわてて外へ飛び出さない。
- ・その場で火を消せる場合は火の始末、火元から離れている場合は無理して消火しない。
- ・扉を開けて避難路を確保する。

2 不特定多数の方が出入りする施設

施設の職員の指示に従うことが基本となります。なお、施設の職員などから明確な指示がない場合は、以下の対応行動が基本となります。

- ・その場で、頭を保護し、揺れに備えて身構える。
- ・あわてて出口、階段などに殺到しない。
- ・吊り下がっている照明などの下からは退避する。

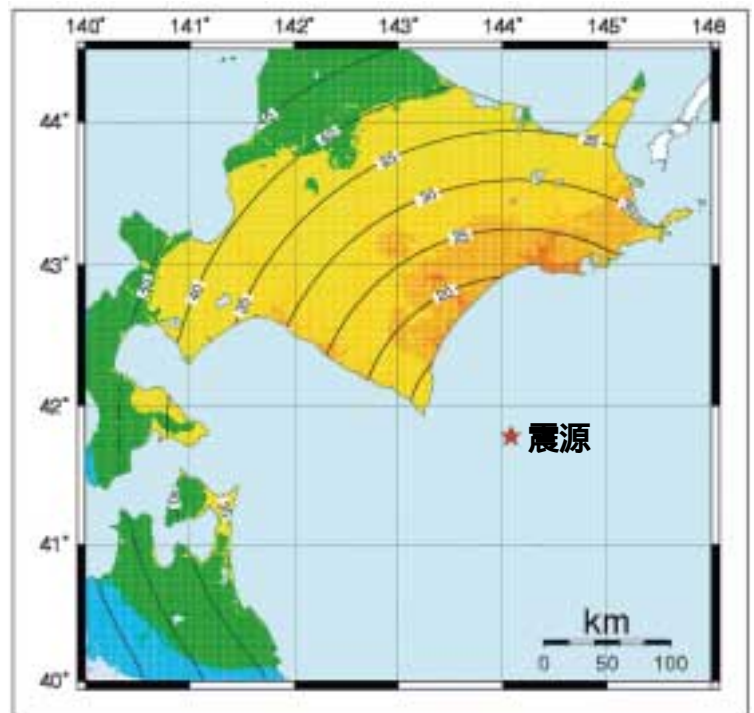
3 屋外

【街にいるとき】

- ・ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒に注意し、これらのそばから離れる。
- ・ビルからの壁、看板、割れたガラスの落下に備え、ビルのそばから離れる。
- ・丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難する。

【山やがけ付近にいるとき】

- ・落石やがけ崩れに注意する。



4 乗り物で移動中

【自動車運転中】

- ・後続の車が情報を聞いていないおそれがあることを考え、あわててスピードを落とすことはしない。
- ・ハザードランプを点灯するなどして、周りの車に注意を促し、急ブレーキはかけずに、緩やかにスピードを落とす。大きな揺れを感じたら、急ハンドル、急ブレーキをさけるなど、出来るだけ安全な方法により、道路状況を確認して、左側に停止させる。

【鉄道・バスに乗車中】

- ・つり革、手すりなどにしっかりつかまる。

【エレベータ乗車中】

- ・最寄りの階で停止させ、すみやかにエレベータから降りる。

この指針は「緊急地震速報の本格運用開始に係る検討会」の最終報告からの抜粋です。この指針はあくまで一つの例であり、この指針を参考にして、自ら個別の指針を考えていただくことが重要です。



地震への備えができていなければ身の安全は守ることはできません。この緊急地震速報を生かすためにも、次のようなことを日頃から心がけましょう。

- 1 住宅の耐震化 昭和56年以前の住宅について住宅耐震診断を受けましょう。
 - 2 家具、テレビなどの電化製品の転倒、移動を防止しましょう。
 - 3 普段から避難場所など安全な場所の確認をしましょう。
 - 4 町も毎年町内会単位で防災訓練を行っていますので、積極的に参加して、防災に関する知識を得ましょう。
- 防災に関することは総務課防災係（内線316）までお問い合わせください。

9月生募集 (2ヶ月間無料体験指導します)

剣舞・詩舞(凱山流・本部宇都宮)

稽古日(月3回) 土・日曜・小・中・高校生
月～日曜・一般成人(曜日・時間は希望に応じます)

琴(生田流一千会・本部東京)

稽古日(月3回) 土・日曜・小・中・高校生
月～日曜・一般成人(曜日・時間は希望に応じます)

詩吟(日本吟正流・本部東京)

稽古日(月3回) 月～日曜・一般成人
いずれも師範制度あり 詳しくは、下記へお問い合わせ下さい。

北海道支部 **中標津教場** 中標津町青葉台20-20(津田 繁樹)
☎・FAX 72-8445



中標津町児童館事業が 子どもの城『みんなで子育て』 モデル地域に選定されました

平成19年度の子育て支援基金助成事業の取り組みとして行われている子どもの城『みんなで子育て』、児童館を拠点とした子育てネットワークづくりのモデル地域として、中標津町が全国で6箇所のうちのひとつに選定されました。



こどもの城モデル事業の取り組み

『たがやし隊』・児童館菜園の実施

児童と地域住民が土やものを育てることを通して、ふれあい交流を深めていくことを目的に、児童館（5箇所）施設内に、児童館菜園作りを企画しました。菜園作りにあたっては、中標津町農協・計根別農協及び中標津農業高等学校の協力により、事前研修の実施、その後、地域の大人と児童館児童が協働しながら児童館菜園を完成させました。

平成19年7月31日、児童館児童で組織する「たがやし隊」リーダーと町内会地域代表の「たがやし隊」が、事前研修を行いました。大型バスを貸切、町の基幹産業である酪農を学習するため根釧農業試験場を見学、その後、計根別に移動し、中標津農業高校でアイスクリーム作りの指導を受けました。

昼からは、計根別児童館の菜園で農業高校の先生や生徒から、枝豆とダイコンの植え方などについて指導を受けている子どもたちの真剣な実習風景を、地域たがやし隊がやさしく見守っていました。

翌日、各児童館で菜園作りを行いました。秋には出来た野菜などを使い、児童と地域の人たちで収穫祭を行うほか、「じどうかん祭り」のチケットをプレゼントするなど、積極的に今後も交流していきます。

また、来年の「じどうかん祭り」には、この菜園で作った野菜を保護者ボランティアが出店する『屋台村』の食材として利用します。子どもたちの育てた野菜を大人たちが調理することにより、食育のネットワーク推進にもつながる事業に取り組んでいきます。



計根別児童館での植え付け

ほかにもこんな事業をしています

『児童館自然体験キャンプ』

7月27・28日の2日間、緑ヶ丘森林公園キャンプ場で、児童館自然体験キャンプが行われました。

デイキャンプに小学1・2年生91名、宿泊キャンプに小学3～6年生50名の総勢141名が参加し、夕食のカレー作りそれぞれ役割を決めて取り組みました。保護者ボランティア・児童館職員の手助けを受け、美味しいカレーを作りみんなで食べました。

デイキャンプの参加者が帰宅後、宿泊キャンプ参加者はキャンプファイヤー、肝試しで交流を深めました。



各班での夕食支度

『いどばたの学校』

小学校から距離的に遠く利用が少なかった「にこにこ児童館」を、平成18年度に中標津町子育て支援センターに位置づけました。

現在では1日の利用者が60名を超え、子育て家庭・児童のふれあい・交流の場として親しまれています。

また、各児童館でも小学生の利用しない午前中は、地域の子育て支援センターとして開放しており、児童館にはそれぞれ母親たちの自主活動による子育てグループが活動しています。その子育てグループのネットワーク組織として「いどばたの学校」があり、交流を目的に季節にあった合同事業を実施しています。

- 7月 たなばたフェスタ
- 8月 中・高校生とのふれあい広場
- 9月 救急救命講座
- 10月 じどうかん祭り
- 12月 クリスマス会
- 1月 餅つき



たなばたフェスタ



子どもたちと中学生との交流

『赤ちゃんネットワーク』

子育て支援センターでは「赤ちゃんボランティア」を結成し、現在では40組の登録があります。思春期の生徒がお母さん達から子育ての話を実際に聞くことにより、命の重さを感じてもらうとともに、優しさやいたわりの気持ちを学ぶことを目的として、中標津町の全中学3年生を対象に各学校の授業の一コマとして赤ちゃん交流を実施しています。

この交流により、生徒が親に、赤ちゃんが生徒になったときにそれぞれの立場でボランティアを行うことができるという連鎖を繰り返し、命の重さ、優しさやいたわりを学べるネットワークを継続させていきます。

児童館は、赤ちゃんから児童生徒・保護者、一般町民が集う施設です。そのことに着目し、子どもを点で見るのではなく、線でつなぎ、地域の大人たちも巻き込んだ空間にしていけるように、子育ての拠点施設として、ネットワークを広げることが大切です。

中標津町の児童館では、既にネットワーク組織を生かしたお祭りとして『じどうかん祭り』を毎年開催しています。今年は、前夜祭が10月6日(土)、本祭が10月7日(日)に開催されます。児童が中心となり1400人が参加する一大イベントとして定着したこのお祭りは、児童のみならず児童館に関わる保護者ボランティア、中・高校生ボランティア、チャイルドアドバイザー、子育てサークルなどのネットワーク組織を最大限生かした活動の場となっています。

こどもの城モデル事業の実施にあたり、各児童館が地域の特色を生かしたネットワークの取り組みを展開しながら『じどうかん祭り』を中核として、子育てネットワークづくりに取り組んでいます。

児童館の住所・電話番号は下記のとおりです。
皆様のご来館をお待ちしています。

- | | | |
|---------------------|---------|----------|
| ・わんぱく児童館 | 西町5丁目 | ☎72-7273 |
| ・西児童館 | 西5北3 | ☎72-3039 |
| ・東児童館 | 東8南3 | ☎73-2996 |
| ・なかよし児童館 | 東14北4 | ☎73-5569 |
| ・にこにこ児童館(子育て支援センター) | 東37北4 | ☎73-1802 |
| ・計根別児童館 | 計根別北1東1 | ☎78-2539 |

詳しくは、子育て支援室子育て支援係(内線231)まで。



昨年のじどうかん祭り



なかしべつの出来事
ニュース de ニュース

8/2~17

夏本番



暑い日が続いた八月ですが、畑では実りの秋のために馬鈴薯の消毒が行われていました。整列したグリーン野菜はブロッコリーです。ひまわりは農業高校での一枚です。

8/6

ゲートボール大会

中標津町協会会長杯ゲートボール大会が、町運動公園ゲートボール場で行われました。

当日は朝から蒸し暑く、大会主催者も水分補給を呼びかける中、十七チーム百二人の方が日ごろの練習の成果を競いました。





NAKASHIETSU TOWN



8/10~21

日体大ラグビー部夏合宿

日体大ラグビー部の部員及び関係者約九十人が町運動公園第一球技場で夏合宿を行いました。
合宿中には、他の大学との練習試合も行われ、町民の方々も観戦に訪れていました。



8/19

消防団総合訓練

消防団総合訓練が計根別を会場に実施されました。各分団から団員七十八名が参加し、小型ポンプとポンプ車の中継放水などの訓練を暑い日差しの中で行いました。
これから火を使うことが増えてきます、火の元には十分注意しましょう。

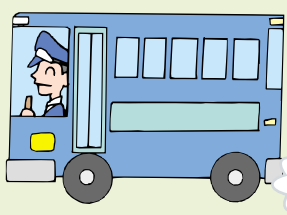


バスに乗ってイベントに行きませんか？

標津線代替輸送連絡調整協議会では、飲酒運転撲滅とCO₂削減のためのエコ運動として「イベントにはバスで」を企画しました。左記のイベントのみ利用できる**無料乗車券**を配布いたしますので、他の町のイベントに参加してみませんか。
小学生以下は保護者同伴

対象イベント

- ・さんま祭り（根室市）
九月十五日（土）・十六日（日）
 - ・産業祭（別海町）
九月十六日（日）
 - ・あきあじまつり（標津町）
九月二十三日（日）
 - ・産業まつり（標茶町）
九月三十日（日）
- 配布期間**
各イベント開催三日前まで
（バス定員で締切）



バス時刻表

さんま祭り（根室市）・産業祭（別海町） 無料シャトルバスの運行あり

行き	中標津ターミナル	9時40分
	別海ぶらと前	10時13分
	根室駅前ターミナル	11時10分

帰り	根室駅前ターミナル	14時55分
	別海ぶらと前	13時21分
	中標津ターミナル	13時50分

あきあじまつり（標津町）

行き	計根別	9時30分
	中標津ターミナル	9時55分
	標津サーモンパーク	10時29分

帰り	標津サーモンパーク	14時9分
	中標津ターミナル	14時47分
	計根別	15時9分

産業まつり（標茶町）

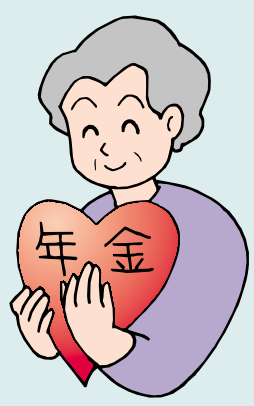
行き	中標津ターミナル	10時13分
	計根別	10時35分
	標茶駅前	11時37分

帰り	標茶駅前	14時20分	16時50分
	計根別	15時20分	17時50分
	中標津ターミナル	15時45分	18時15分

問い合わせは、生活課交通町民相談係（内線219）まで。

国民年金からのお知らせ

付加保険料を納付しませんか



付加年金とは

平成十九年度の老齢基礎年金の年金額は七十九万二千円（満額）四十年間保険料納付）ですが、老後により高い老齢基礎年金を受けたいと考えている方のために、毎月の保険料（平成十九年度は一万四千円）のほかに付加保険料を上乗せして納付すると、老齢基礎年金に上乗せして支給される付加年金があります。

第一号被保険者の場合は、報酬によって保険料や給付額が増減する厚生年金保険などの被用者年金制度とは違い、保険料と給付（老齢基礎年金）額が定額となっていますので、将来の生活設計にあわせて、この付加年金のほかに、公的な年金制度である国民年金基金、個人型確定拠出年金及び農業者が加入できる農業者年金の制度があります。これら上乗せ制度の保険料は、国民年金保険料と同じく全額が社会保険料控除の対象となります。

付加保険料の額は定額

付加保険料の額は一月四百円です。付加保険料を納付することができる

対象者の方は、第一号被保険者または任意加入被保険者の方です。保険料の免除または保険料の納付猶予を受けている方や国民年金基金の加入員の方は、付加保険料を納めることはできません。

また、農業者年金の加入者は、必ず付加保険料を納付しなければならぬことになっています。

付加年金額は

付加年金額の計算は、次のとおりです。

年金額＝二百円×付加保険料納付月数（六十五歳から老齢基礎年金を受給する場合）

つまり、保険料月額四百円に対して、付加年金額は二百円×納付月数ですから、六十五歳から年金を受給した場合、仮に一年間付加保険料を納付した場合、二年間で付加保険料相当分の年金を受け取ることができます。

なお、この付加年金は、老齢基礎年金の受給権を得た月の翌月から支給され、老齢基礎年金を六十五歳より前に繰り上げ受給または六十六歳以後に繰り下げ受給しようとする場合には、付加年金額も老齢基礎年金の減額率及び増額率に応じて減額または増額されます。

詳しくは、釧路社会保険事務所
☎0154(22)0111 または保険年金課年金係（内線二三六）
に問い合わせください。



「ドライアイとは」

BUT (tear film break up time、涙液層破壊時間) 短縮型ドライアイとは

町立中標津病院 眼科医長 仲 昌彦

ドライアイとは、涙の量が減ったり、涙の成分が変化し、目の表面を覆っている涙の膜が途切れやすくなる状態で、涙が影響した目の表面の肌荒れのような状態です。

皆さんが自覚する症状として、目が乾くという訴えは勿論ですが、目が疲れる、目がシヨボシヨボする、目を開いていられないと言った訴えも多く見られます。

また、視力検査では良好であるにも関わらず何となく見えづらい、かすんで見える、まぶしいと言った訴えもドライアイが原因である場合があります。

診断には特殊な装置は必要無く、涙の量を測定したり、色素を目の表面に付けて状態を観察したり、涙の保持力を測定する事が診察の中心です。

治療としては、家内の乾燥環境に対して加湿器の使用や、パソコン操作等での目の

瞬きの少ない状態の改善は、日頃から出来る大切な治療です。ただ、それだけでは改善しない時には、医療機関での治療が必要です。涙

の代用として水分を補い乾燥を防ぐ人工涙液や、目の潤いを持続させて保護効果もあるヒアルロン酸点眼液を使

用する事が治療の中心となっています。重症の患者さんに対しては、自分の血液から作る自己血清点眼液を使用したり、涙の逃げ口である涙点に栓をして涙の流失を防ぐ涙点プラグ挿入という方法もあります。ただ、他の病気が原因の場合もあり、一概に先に述べた治療では改善しない患者さんもおられます。

最近、BUT短縮型ドライアイという病気が話題になっています。この状態は、涙は十分にでていますが、涙の保持能力が低下している為に、目から涙がすぐに流れ去ってしまう状態です。その為、コンピューター作業等の凝視作業従事者では症状が出易いです。また、涙の保持力が悪く目の乾燥を防ぐ為に、涙が多量に出ている患者さんの場合には、主観的にドライアイの自覚が薄く、その為に流涙症と勘違いしている患者さんもいます。診断や治療は先に述べた一般的なドライアイの方法で行います。

ドライアイの患者さんは、一般的に三十〜五十歳の女性に多く見られ、全国に一千万人〜二千万人いると言われております。ここ中標津町にも男女を問わず、多数の患者さんがいる事が考えられます。少しでも不安のある方は、まずは眼科を受診してください。

中標津農業高校 第6回 収穫祭



JA計根別生活店舗、なかまっぶ、本校事務室前で販売している農高製品「計根別食紀行」シリーズを、収穫祭で販売します。普段販売していない限定品もありますので、ぜひ皆様お誘い合せてお越しく下さい。

日時 9月30日(日) 10時~14時

場所 なかまっぶ(中標津経済センター)

【肉加工品】

羅白海洋深層水を使用し産地を生かした食品、ウインナーソーセージ、羅白昆布ソーセージ、ベーコンほか

【乳加工品】

本校農場で健康的に飼育された乳牛から搾った新鮮牛乳使用のゴーダチーズ、ヨーグルト、ケネティスほか

【農産加工品】

新製品！パウンドケーキ、イチゴ・ブルーベリージャム、計根別羊羹ほか

【野菜】

真夏の太陽たっぷり野菜！トウモロコシ、ジャガイモ、カボチャほか

【花】

男子ばかりで作った花です！球根ペコニア、ニューギニアほか

【鉄加工品】

今年もやってきた！農高オリジナルフラワースタンド！

【その他】

コーヒー牛乳、鶏串、豚串
詳しくは農業高校☎78-2053まで。



ごみ収集のお知らせ

祝日におけるごみ収集等は、次のとおりとなりますのでお知らせします。

9月17日(月)

- ・ごみ収集は休み
- ・一般廃棄物最終処分場は午前中のみ受入可

9月24日(月)

- ・ごみ収集、一般廃棄物最終処分場ともに通常どおり
- 詳しくは、生活課環境衛生係まで。



「なかしべつのまちづくり 評価しませんか」調査結果 報告書について

6月に実施しました町民アンケート「なかしべつのまちづくり評価しませんか」の調査結果を集計しました。

アンケートにご協力いただきました町民の皆さん(対象500名・回答141名)には、心からお礼申し上げます。

調査結果につきましては、役場1階ロビー・計根別支所・総合文化会館・町立中標津病院に報告書を設置していますのでご自由にお持ち帰りください。また、町のホームページにも掲載します。問い合わせは、企画課企画調整係まで。

住民基本台帳法第11条3項に 基づく公表について

平成18年度における住民基本台帳の一部の写しの閲覧状況について、次のとおり公表します。

申請者 社団法人千島歯舞諸島居住者連盟中標津支部

目的 元居住者の実態調査

閲覧日 平成18年12月18日

範囲 元居住者

申請者 日本たばこ産業株式会社マーケティング統括部

目的 20歳以上の成人喫煙率調査(厚生労働省国民栄養調査)

閲覧日 平成19年1月30日・2月9日

範囲 東34条南1丁目

詳しくは、生活課戸籍住民係まで。

「子どもの人権110番」 強化週間のお知らせ

「子ども人権110番」(子ども用)フリーダイヤル0120-007-110

実施日時 9月17日(月)~23日(日)

・9月17日(月)~21日(金)は、8時30分~19時

・9月22日(土)・23日(日)は、10時~17時

相談担当 子どもの人権専門委員

主に釧路人権擁護委員連合会の「子どもの人権専門委員」が対応しますが、子どもの人権問題に適切に対応できる人権擁護委員及び釧路地方法務局人権擁護課の職員が対応する場合があります。

問い合わせは、釧路地方法務局人権擁護課☎0154-31-5014まで。

医療講演会のお知らせ

テーマ 「リウマチ・膠原病の最近の話題」

とき 9月16日(日)10時~12時

ところ 総合文化会館

講師 北海道大学大学院医学研究科病態内科学講座・第二内科教授

日本リウマチ学会理事長
小池 隆夫先生

参加費 無料

申し込み不要で、どなたでも参加できます。

知っていますか? 建退共制度

この制度は、建設現場で働く人々のために、「中小企業退職金共済法」という法律により国が作った退職金制度です。

加入できる事業主 建設業を営む方
対象となる労働者 建設業の現場で働く人

掛金 日額310円

詳しくは、建退共北海道支部

☎011-261-6186まで。

労災保険情報センター からのお知らせ

財団法人労災保険情報センターでは、厚生労働省の委託を受けて、労災医療及び労災補償等の労災保険制度全般のご相談をお受けしております。

相談は無料で、秘密は厳守いたします。お気軽にご相談ください。

詳しくは、財団法人労災保険情報センター北海道事務所☎011-746-6423まで。

中標津郵便局からのお知らせ

10月1日から中標津郵便局は、民営化により次の2つの会社としてスタートします。

【10月1日以降の問合せ先】

中標津郵便局

貯金・保険サービス ☎72-3102

郵便窓口でのサービス

(切手・印紙販売など) ☎73-5037

郵便事業株式会社 中標津支店

郵便サービス(集荷、配達、再配達)

☎78-7761

贈り物に乳製品を!



中標津の生乳から手づくりする高品質の乳製品は、贈り物にも大変喜ばれています。

製造品目

のむヨーグルト・食べるヨーグルト・
フローズンヨーグルト・アイスクリーム・
イタリアンジェラート・ナチュラルチーズ

ラ・レトリなかしべつ

中標津町北中9番地17 電話0153-72-0777

<http://www.laiterie.co.jp/>



悩んでいるけどひとりで解決できない子ども。お子さんのことで心配事のあるお母さんへ。

勇気をだして電話をしてみてください。ともに考えます。

0153-72-1323 (FAXも同じ)

フリースクール・ミザール

中標津町東13条北6 中標津こどもクリニック2F
mizar-nakashibetsu@bz01.plala.or.jp

社会保険事務所相談所開設日のお知らせ(☎0154-22-0111)

日時 / 9月18日(火)13時~17時 9月19日(水)9時~11時30分 場所 / 中標津経済センター



健康

保健センターの各種検診・教室の申込受付をしています。

申込・問合せ先

中標津町保健センター

☎72-2733

「健康食生活はじめよう講座」のお知らせ

自分のため、家族のために食事の基本を学んでみませんか。

日 程 10月10日(水)

時 間 10時30分～13時30分

対 象 町民の方

定 員 20人(先着順)

内 容 ・講話「食べ方・食事のコツ」
・調理実習、試食
・歯みがき実習

会 場 中標津町保健センター

参加料 無料

持ち物 エプロン・三角巾・健康手帳(お持ちの方)

申込締切 10月5日(金)

骨粗鬆症検診のお知らせ(10月分)

実施期間 10月1日～31日の平日

申込締切 9月20日(木)

対 象 20歳以上の女性

内 容 問診、骨密度測定(手首)、診察

料 金 1,400円(70歳以上は700円)

定 員 1日2人(11時から)

実施場所 町立中標津病院 整形外科

乳がん検診のお知らせ(10月分)

実施日 10月22日(月)12時45分から

申込締切 9月18日(火)

対 象 40歳以上の女性

(検診の間隔は2年に1回)

定 員 30人

内 容 問診、視診・触診、マンモグラフィ撮影(別日程)

料 金 2,800円(70歳以上は1,400円)

実施場所 町立中標津病院

アルコール依存症で悩んでいる方・家族の方へ

アルコール依存症は「依存症」という病気です。

奥根室断酒会では互いの酒害体験を

話したり、聴いたりすることによって「依存症」を自覚し、断酒継続をするため例会を開催しています。関心のある方、参加してみませんか。

日 時 9月16日(日)

10時～11時30分

対 象 断酒継続を希望する本人・家族

場 所 中標津町保健センター

申し込み・問い合わせは、中標津町保健センター(担当:白金)まで。



税金

9月は国民健康保険税(第4期)、介護保険料(第4期)の納期です

【納期限は10月1日】

固定資産税及び町道民税の第1～2期、軽自動車税、国民健康保険税及び介護保険料の第1～3期の納期限がすでに経過しています。もう一度お手元の納付書を確認のうえ、納付されていない方は早急に納めましょう。

町税はみんなの財産です。町税を有効に使うため、納期内納付にご協力をお願いします。

< 9月の収納窓口休日開設及び

平日開設時間延長日 >

休日開設日	開設時間延長日
30日(日)	18日(火) 28日(金)
9時～17時	17時15分～20時

あわせて納税相談を実施していますので、納税についてご相談ください。

～町税等各種収納金の納付は口座振替で～



一般

オータムジャンボ宝くじ発売のお知らせ

10月1日(月)から10月19日(金)までオータムジャンボ宝くじが発売されます。

オータムジャンボ宝くじの賞金は、1等・前後賞合わせて2億円です。

抽選日 10月24日(水)

この宝くじの収益金は市町村の明るい街づくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

心身障がい者の巡回相談

北海道立心身障害者総合相談所による巡回相談が、次のとおり開催されます。

日 時 10月16日(火)

9時～17時

場 所 総合文化会館

相談内容

身体障がい者及び知的障がい者の方々の、医学的、心理学的及び職能的判定など

補装具の処方及び適合判定など

その他、身体障がい者及び知的障がい者の方々の専門的相談など

相談は予約制です。相談を希望される方は9月14日(金)までに福祉介護課福祉支援係までご連絡ください。

特定計量器(小型はかり)定期検査のお知らせ

商店・工場・学校・病院などで、取り引きまたは証明上の計量に使用している「はかり」「分銅」「おもり」は、計量法に基づき、2年に1回、知事が行う「定期検査」を受検し、合格したものでなければ使用できません。(代検査計量士の検査を受検した計量器は定期検査を免除されます。)

平成19年は、当町の定期検査の年です。検査日程は次のとおりです。

検査日時・場所

【中標津市街】

10月3日(水)・4日(木)

9時30分～16時

総合文化会館町民ホール

【計根別地区】

10月5日(金)9時30分～12時

中標津町交流センター(計根別支所)

問い合わせは、経済振興課商工労働係まで。

自衛官募集

1. 防衛医科大学
高卒(見込含)21歳未満の者

2. 防衛大学
高卒(見込含)21歳未満の者

3. 看護学生
高卒(見込含)24歳未満の者

4. 2等陸・海・空士
18歳以上27歳未満の者

受付期間は、9月7日から28日まで。(2等陸・海・空士は年間を通じて行っています。)

詳しくは、自衛隊中標津地域事務所

☎72-0120まで。

「まちづくりを考える懇談会」を開催します

テーマ 住みやすく、住み続けたいまちづくり

9月18日(火)~28日(金)



地域の抱えている問題や行政に対するご意見、ご要望など、まちづくりについて町民の皆さんと直接話し合う「まちづくりを考える懇談会」を開催します。

懇談会でのご意見などは、今後のまちづくりに生かされていきます。まちづくりに積極的なご意見・ご提言をお待ちしています。

～みなさんの声をお聴かせください～

市街地開催日程

市街地での開催は、町内会単位ではなくテーマ（所管）別に行い、対象は町内全域とします。

開催日時	会場	所管	テーマ（対応分野）
9月20日（木） 19時	総合文化会館 第2研修室（2階）	総務部 建設水道部 消防署	・パートナーシップで進めるまちづくり ・総合発展計画 ・財政状況 ・道路・公園・河川 ・町営住宅 ・都市計画 ・水道・下水道 ・防災・消防 ・4町の自治を考える会（市町村合併）など
9月25日（火） 19時	総合文化会館 第1研修室（2階）	町民生活部 町立病院	・環境 ・ごみ・リサイクル ・交通（バス） ・高齢者・障がい者対策 ・子育て支援 ・国保・介護保険 ・保健・医療 ・4町の自治を考える会（市町村合併）など
9月28日（金） 19時	総合文化会館 第2研修室（2階）	経済部 教育委員会	・農・林業振興 ・商業振興 ・観光・交流・移住 ・空港 ・中心市街地の活性化 ・学校教育・生涯学習 ・4町の自治を考える会（市町村合併）など

市街地以外の開催日程

地区割りをしていますが、お近くの場所またはご都合のよい時間帯へお越しください。

開催月日	時間	該当地域	会場
9月18日（火）	13時30分	武佐・俵橋	武佐へき地保健福祉館
9月19日（水）	13時30分	俣落・開陽・北町	俣落母と子の家
9月20日（木）	13時30分	豊岡・協和	豊岡会館
9月21日（金）	13時30分	当幌	当幌研修館
9月25日（火）	13時30分	西竹・若竹・第二俣落	拓友館
9月27日（木）	19時	計根別・計根別周辺・上標津・養老牛	中標津町交流センター

問い合わせは、企画課広報・調査係（内線328）まで。

平成19年
9
VOL.537

中標津
なかしべつ

広報紙に掲載された写真をご希望の方は、企画課広報・調査係までご連絡ください。

7月31日現在住民登録人口

町の人口 24,192 (+29)
男 11,851 (+16)
女 12,341 (+13)
世帯数 10,355 (±0)
()内は前月比



誕生 24人 死亡 15人 転入 91人 転出 71人



広報中標津は、環境保護のために古紙配合率100%再生紙および100%植物油型インキ「ナチュラル100」を使用しています。